

脱炭素先行地域 中間評価報告票

提案者名	鹿追町
共同提案者名	
選定回	第1回
重点選定モデル①	
重点選定モデル②	

【先進性・モデル性の類型】

地域課題解決	防災・レジリエンス強化、畜産酪農振興、資源循環
地域脱炭素の基盤創出	地域エネルギー会社との連携
需要家・エリア設定	公共施設群、その他（需要家・エリア設定）
創出する再エネの種類・導入技術等	バイオガス発電、太陽光発電（導入方法等に工夫があるもの）、熱利用、水素利用、高度なエネマネ（VPP、DR、MG、大型蓄電池等）

交付金の交付を受けて交付対象事業が開始された年月	2022/5/11
--------------------------	-----------

1. 基礎情報（計画の変更箇所）	
<p>【令和4年度進捗状況報告票】より 番号163490001～163490006（役場周辺エリアのNearly ZEB化改修）に関して、3カ年の複数年契約で概略設計期間を延長したことに伴い、年度配分を見直した。また、発注支援業務部分を番号163490044（執行事務委託）に修正して計上した。 番号163490040・163490045（脱炭素車両の導入）、163490042・163490043（EVステーションの設置）に関して、今年度執行分を次年度に振り分けた。 番号163490044（執行事務委託）に関して、当初実施予定分について実績との差分を次年度に振り分け、番号163490001～163490006（役場周辺エリアのNearly ZEB化改修）に計上していた発注支援業務を執行事務費に修正して計上した。</p> <p>【令和5年度進捗状況報告票】より 交付金活用期間の変更（R12まで→R9まで）及び資材高騰等の影響により、当初の提案内容からの一部事業の廃止及び交付金活用を取りやめて令和10年度以降に実施することを検討し、計画提案書の内容を変更した。主な変更内容は下記のとおり。</p> <p>■役場周辺エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「役場庁舎」はNearly ZEB化を廃止。ガスヒートポンプ空調を導入。 ・「健康温水プール」は、Nearly ZEB化を廃止し、LED化のみ実施。 ・「鹿追小学校」は、LED化を2030年度までに実施へ変更。 ・水素燃料電池、太陽熱利用設備の導入を廃止。 ・「道の駅」は、令和10年度からの事業実施へ変更。 ・太陽光発電、蓄電池を増設。 <p>■瓜幕エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山村留学センター」は、Nearly ZEBから『ZEB』にする。 ・メタンコジェネ10kWの導入は廃止し、水素燃料電池5kW導入にて代替。 ・太陽光発電、蓄電池を増設。 <p>■エネルギー供給エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイオメタン精製・圧縮設備の導入廃止。 	

<選定当初の計画値との比較>

種類	(E) 現在の 計画値	(F) 選定当初の 計画値	(E) - (F) 現在と 選定当初の 計画値の 比較
民生部門の電力需要量 (kWh/年)	6,077,264	7,943,696	-23.5%
再エネ等の電力供給量 (kWh/年)	19,369,170	19,242,431	0.7%
省エネ等による電力削減量 (kWh/年)	1,127,546	1,469,059	-23.2%
自家消費等の割合 (%)	100.0%	100.0%	0.0%
「再エネ等の供給量の合計」のうち先行地域のある 地方公共団体内で発電する再エネ電力量の割合 (%)	100.0%	100.0%	0.0%

2-1.中間評価実施時点までの「実質ゼロ」の達成率

$$\left(\frac{\text{再エネ等の電力供給量 (A)}}{\text{民生部門の電力需要量 (C)}} + \frac{\text{省エネによる電力削減量 (B)}}{\text{民生部門の電力需要量 (C)}} \right) \div \text{民生部門の電力需要量 (C)} = \text{達成率 (\%)}$$

((%) + (%)) ÷ (kWh/年) = (%)

種類	民生部門の電力需要家	数量	電力需要量 (kWh/年)	再エネ等の供給量(kWh/年)				合計	省エネ等による電力削減量 (kWh/年)	CO2 排出削減量 (t-CO2)	備考
				内訳							
				自家消費等	相对契約	再エネメニュー	証書				
民生・家庭	戸建住宅							0			
	その他							0			
民生・業務その他	オフィスビル							0			
	商業施設							0			
	宿泊施設	2	507,771					0			
	その他	1	60,880					0			
公共	公共施設	339	5,508,613					0			
	その他							0			
合計			(C) 6,077,264	0	0	0	0	(A) 0	(B) 0	0	

2-2.中間評価実施時点における新規再エネ導入量

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	累計
0	0	0							0

※対象年度中に導入完了した、先行地域事業による新規再エネ設備について記載してください（交付金充当の有無は問いません。）。

3.電力需要家との合意形成の状況

■住宅

No	施設名	対象施設数	合意形成進捗度	今後の合意形成のスケジュール
1				

■業務その他

No	施設名	対象施設数	合意形成進捗度	今後の合意形成のスケジュール
1	然別湖エリア	3	C	既存ホテルと休業ホテルを合併が検討されているところであり、国立公園も含めて新ホテルの建設を計画。エリア内の北海道の調査・測量が2024年11月までの予定で実施中であり、この実施結果をもとに、北海道とホテル事業者間での協議がなされ、今後のスケジュール等が具体的に示される見込みとなる。今後ホテル側の事業計画に合わせて交付金事業の実施を検討。

■公共

No	施設名	対象施設数	合意形成進捗度	今後の合意形成のスケジュール
1	公共施設群	323	D	地域新電力設立について、9月定例議会（9/9）にて地域新電力会社「（仮称）鹿追エナジー」への出資金（4,000千円）を提案（会社名は、町民・学生へ公募予定）。議会承認後、10月に会社を設立し、11月1日～全公共施設（電灯など特殊契約を除く）にて「RE100電力（町バイオガスパラント、町内太陽光発電等非化石証書付き）」を供給する。

4-1.民生部門の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロの実現に向けた進捗状況

【再エネに係るもの】

■取組：役場周辺エリア、瓜幕エリア、然別湖エリア

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程						役場周辺エリアの太陽光発電導入				
							瓜幕エリアに太陽光発電導入				
							瓜幕エリアに水素燃料電池導入				
							道の駅に水素燃料電池導入				
							然別湖に太陽光発電導入				
	目標値 (単位:kW)	単年度				125	259		5		
		累計				125	384	384	389	389	
状況	工程	役場周辺エリアの概略設計・発注準備									
			瓜幕エリアの概略設計	瓜幕エリアの基本設計							
		実績 (単位:kW)	単年度	0	0	0					
		累計	0	0	0						

取組概況	役場周辺エリアの概略設計・発注準備。瓜幕エリアの基本設計。
------	-------------------------------

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

【省エネに係るもの】

■取組：役場周辺エリア、瓜幕エリア、然別湖エリア

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程						役場周辺エリアのNearly ZEB化、ZEB Ready化改修				
							瓜幕エリアに新山村留学センター導入				
							道の駅のNearly ZEB化				
							然別湖エリアの既存ホテルLED化、断熱化				
	目標値 (単	単年度				57536	1070010			3,366	
		累計				57536	1127546	1127546	1127546	1130912	
状況	工程	役場周辺エリアの概略設計・発注準備									
			瓜幕エリアの概略設計	瓜幕エリアの基本設計							
		実績 (単	単年度	0	0	0					
		累計	0	0	0						
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計	0	0	0						

取組概況	役場周辺エリアの概略設計・発注準備。瓜幕エリアの基本設計。
------	-------------------------------

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

4-2.民生部門電力以外の温室効果ガス排出削減等の進捗状況

■取組：役場周辺エリア、瓜幕エリア、然別湖エリア

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程							然別湖エリアで温泉熱利用			
								然別湖エリアの休業ホテルのZEB化再建			
								役場周辺エリアの電気式ヒートポンプ空調の導入、ガス式ヒートポンプ空調の導入			
								瓜幕エリアに太陽熱利用、水素燃料電池導入			
								道の駅に水素燃料電池導入			
	目標値 (単位:kW)					5	397			5	
	単年度 累計					5	402	402	402	407	
状況	工程	脱炭素車両等の導入									
		実績 (単位:kW)	単年度	0	0	0					
			累計	0	0	0					
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	0.9	2.3	2.3							

取組概況	脱炭素車両をR4に2台、R5に3台導入。
------	----------------------

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

5-1.共通KPIの進捗状況

■指標：脱炭素先行地域における域外へのエネルギー代金流出抑制額

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	0	0	0	0	3,865,901	28,729,321	0	0	248,634,593
	累計	0	0	0	0	3,865,901	32,595,222	32,595,222	32,595,222	281,229,815
実績	単年度	0	0	0						
	累計	0	0	0						

5-2.個別KPIの進捗状況

■指標：集中型バイオガスプラント設置等による循環型社会構築乳牛ふん尿処理頭数（頭）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	4,300	0	0	0	0	0	0	0	6,000
	累計	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	10,300
実績	単年度	4,300	0	0						
	累計	4,300	4,300	4,300						

実績詳細	既存バイオガスプラント処理頭数
------	-----------------

■指標：ワーケーション受け入れ回数（回）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	3	4	5	6	7	8	9	10	12
	累計	3	7	12	18	25	33	42	52	64
実績	単年度	3	2	11						
	累計	3	5	16						

実績詳細	R5年度2回受け入れ。 R6年度予約数。
------	-------------------------

■指標：ゼロカーボン連携企画実施数（環境教育、セミナー、研修等）（回）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	3	4	5	6	7	8	9	10	12
	累計	3	7	12	18	25	33	42	52	64
実績	単年度	2	3	2						
	累計	2	5	7						

実績詳細	第46回EST創発セミナー（2023.10.10）、親子で省エネ講座・エネルギーの“創・蓄・省”とものづくり教室（2024.1.11）、ゼロカーボンセミナー(2024.1.30) 親子で作って学ぶ環境教室（2024.6.30）、EVでエコラリー2024(2024.9.20-21)、ゼロカーボンセミナー(2024.11予定)
------	---

■指標：地域新電力売電量(kWh)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	0	0	0	0	0	0	0	0	18,376
	累計	0	0	0	0	0	0	0	0	18376
実績	単年度	0	0	0						
	累計	0	0	0						

実績詳細	なし
------	----

■指標：新規雇用者数(人)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	0	0	0	0	0	0	0	0	20
	累計	0	0	0	0	0	0	0	0	20
実績	単年度	0	0	0						
	累計	0	0	0						

実績詳細	なし
------	----

■指標：公共での太陽光発電導入容量(kW)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	0	0	0	0	125	239	0	0	1,113
	累計	0	0	0	0	125	364	364	364	1,477
実績	単年度	0	0	0						
	累計	0	0	0						

実績詳細	役場周辺エリアZEC化改修等検討業務で工事業者を募集中。瓜幕エリアの基本設計業務を発注中。令和6年度の導入無し。
------	--

■指標：公用車の脱炭素車両の導入台数(台)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	0	3	2	2	2	2	3	3	3
	累計	0	3	5	7	9	11	14	17	20
実績	単年度	12	1	0						
	累計	12	13	13						

実績詳細	令和4年度：水素自動車 10台、電気自動車 1台、PHEV自動車 1台 令和5年度：PHEV自動車 1台、外部給電器 7台
------	--

■指標：民間事業者によるカーシェアリングの利用者数(人)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	0	0	0	0	0	0	0	0	1500
	累計	0	0	0	0	0	0	0	0	1500
実績	単年度	0	0	0						
	累計	0	0	0						

実績詳細	「EVカーシェア」は、システム開発を検討したところ、開発費用及びランニングコストが高額となることが判明したため、民間事業者に事業実施の検討を依頼している。
------	---

■指標：徒歩・自転車通勤実践率(%)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	51	55	59	63	67	71	75	79	80
	累計	51	55	59	63	67	71	75	79	80
実績	単年度	51	51	50						
	累計	51	51	50						

実績詳細	徒歩・自転車通勤の普及啓発を継続実施。
------	---------------------

6.事業実施体制の現状

事業	事業者名	調整・協議状況 (設立準備、一般送配電事業者との協議等)	今後の進め方、課題	投資回収年数(年)
PPA事業				
再生エネルギー事業				
小売電気事業 (地域新電力)	エネウィル	・9月定例議会(9/9)にて地域新電力会社「(仮称)鹿追エナジー」への出資金(4,000千円)を提案。(会社名は、町民・学生へ公募予定) ・議会承認後、10月に会社を設立し、11月1日～全公共施設(電灯など特殊契約を除く)にて「RE100電力(町バイオガスプラント、町内太陽光発電等非化石証書付き)」を供給する。	・R7年度以降は、町内の農協・農業法人等や町外の連携協定締結企業等へ営業展開し、販売電力量を増やしていく。また、エネウィルの知見を活用し、空調や照明設備のESCO事業等の営業展開も図る。 ・町民所有の非FIT太陽光発電における余剰電力の買取を行う。(道内企業よりも高い価格(11円/kwh以上)での買取を予定) ・(仮称)鹿追エナジーとして、町民向けに環境セミナー等を実施し、脱炭素に対する意識を喚起し、日々の省エネ活動や本町が行っている独自の脱炭素補助、重点対策加速化事業の執行率の向上にもつなげていく。 ・本町の他の主要政策(DX推進や空き家空き地対策など)との連携を図っていき、「まちづくり推進」に協力していく。	0
送配電事業				
都道府県				

※必要に応じて行を追加・削除してください。

7.事業継続性（横展開の可能性等の観点を含む）の見込みについて

事業継続性を見込み

本町とエネウィルの合同出資により地域新電力会社（仮称）鹿追エナジーを設立し、R7年度以降、町内の農協・農業法人等や町外の連携協定締結企業等へ営業展開、販売電力量を増やしていくとともに、町民所有の非FIT太陽光発電における余剰電力の買取を行い、再エネ電力供給量の確保を図ることで、卸電力市場に依存すること無く、より安価な地域再エネの確保を進め、バイオマスガスプラント事業の卒FIT後の採算性を確立していく。

さらに、エネウィルの知見を活用し、空調や照明設備のESCO事業等の営業展開も行き、事業を多角化することで、安定した事業継続を目指す。

自治体内外への横展開に向けた方針の検討状況について

卒FIT後のバイオガスプラント事業の安定的な維持・運営を確立することで、運営収支が懸念されバイオガスプラント導入が進まない地域（特に基幹産業が畜産業の地域）に対して、運営手法も含めた持続可能なバイオガスプラント導入モデルを示すことができる。

また、水素事業に関しては、公用车におけるFCEVの配備や水素燃料電池バスの導入等を進め、町内における水素利用先の拡大を進めつつ、産業用の水素利用については道東の企業に出荷することを予定しており、水素サプライチェーン構築モデルを示すことができる。

脱炭素先行地域事業終了後は、視察等の受け入れや情報発信を行うとともに、道内で開催される脱炭素に関わる職員研修の講師を引き受け、施設更新に関する課題解決事例として横展開を図る。

8.地域の将来ビジョンへの位置づけの状況

鹿追町ゼロカーボンシティ推進戦略及び鹿追町地球温暖化対策実行計画で、脱炭素先行地域での取組を重点施策として位置づけている。